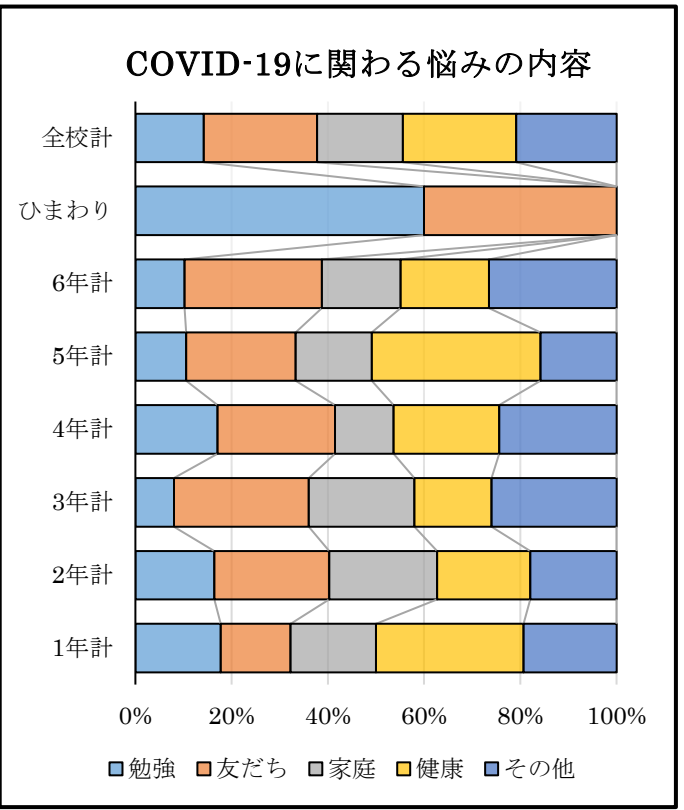
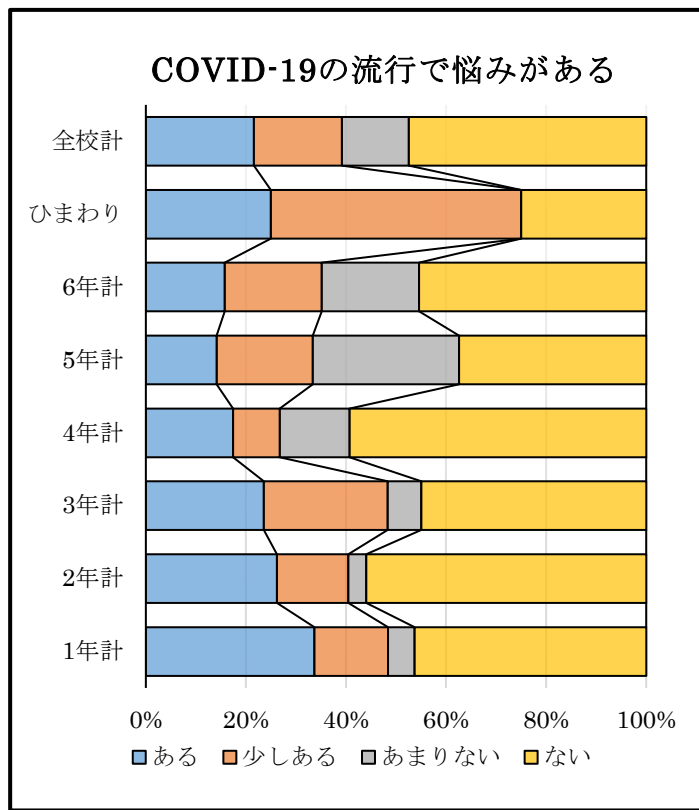
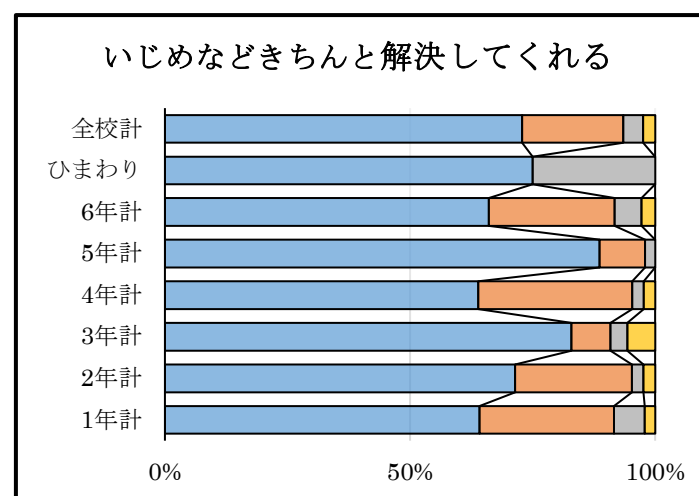
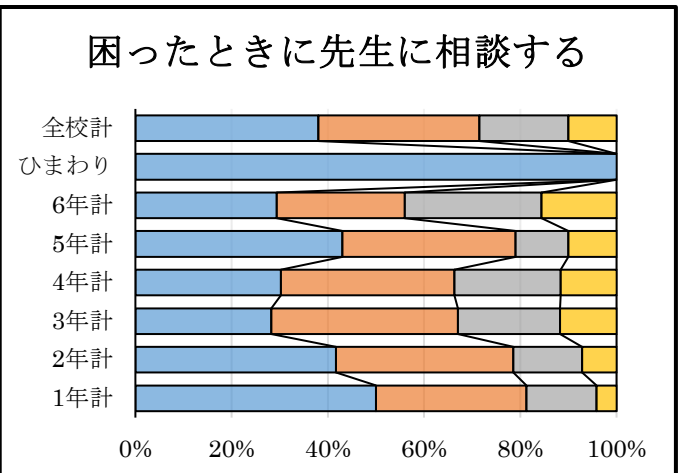
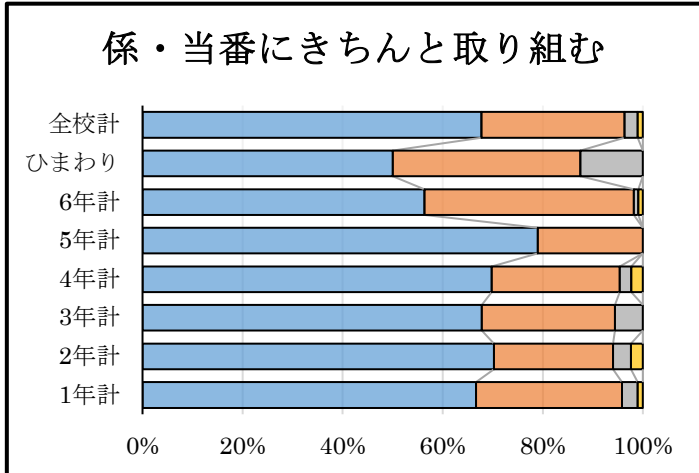
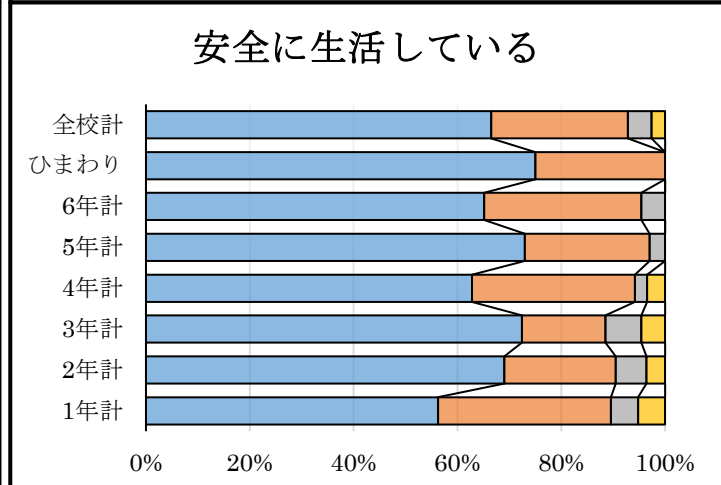
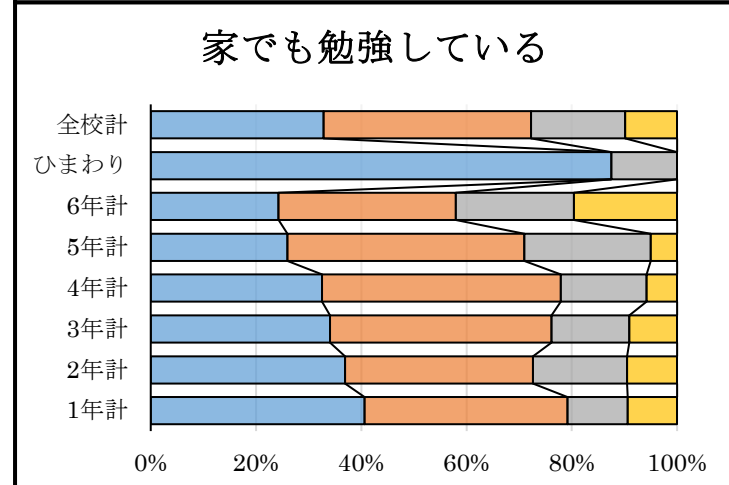
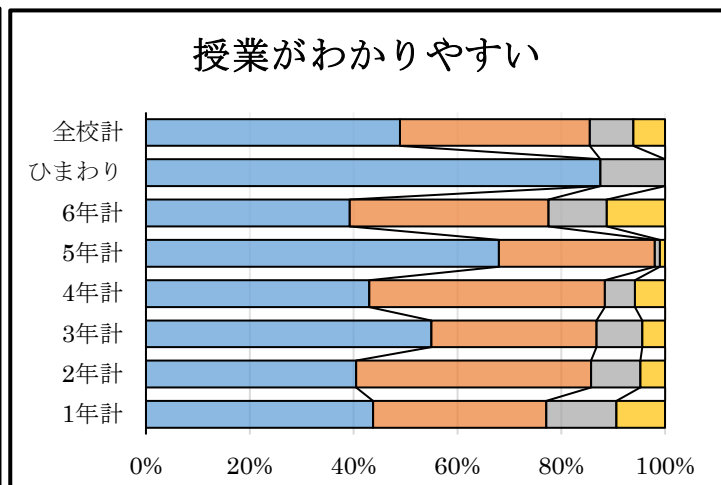
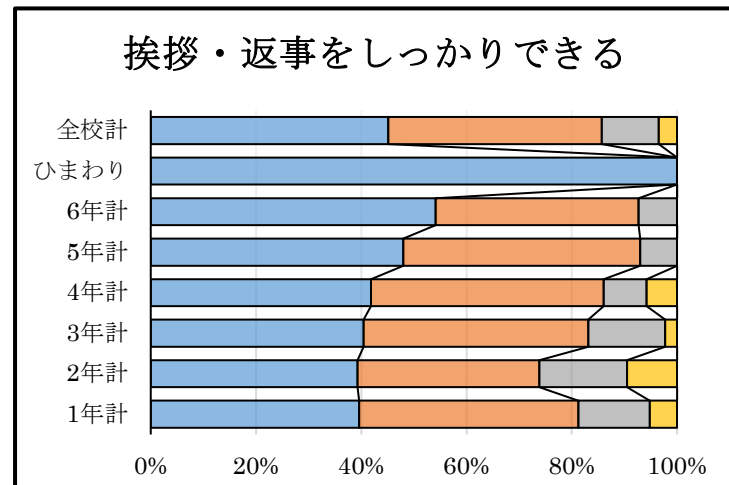
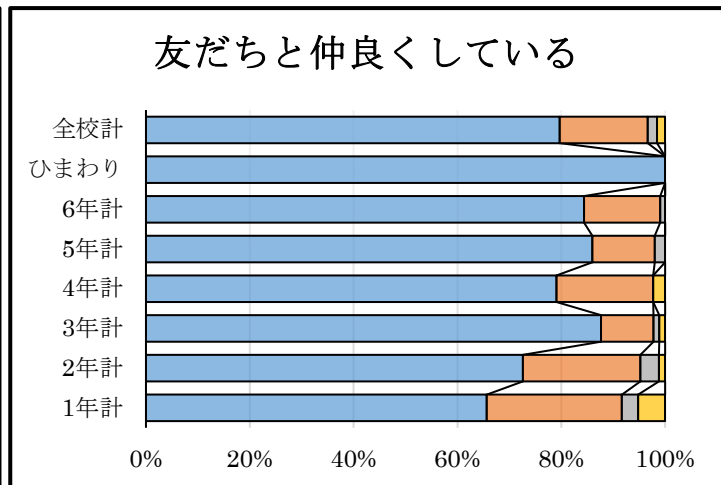
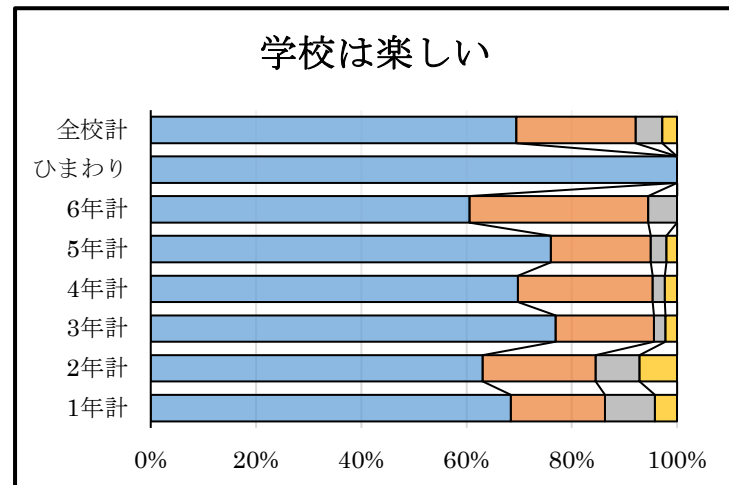


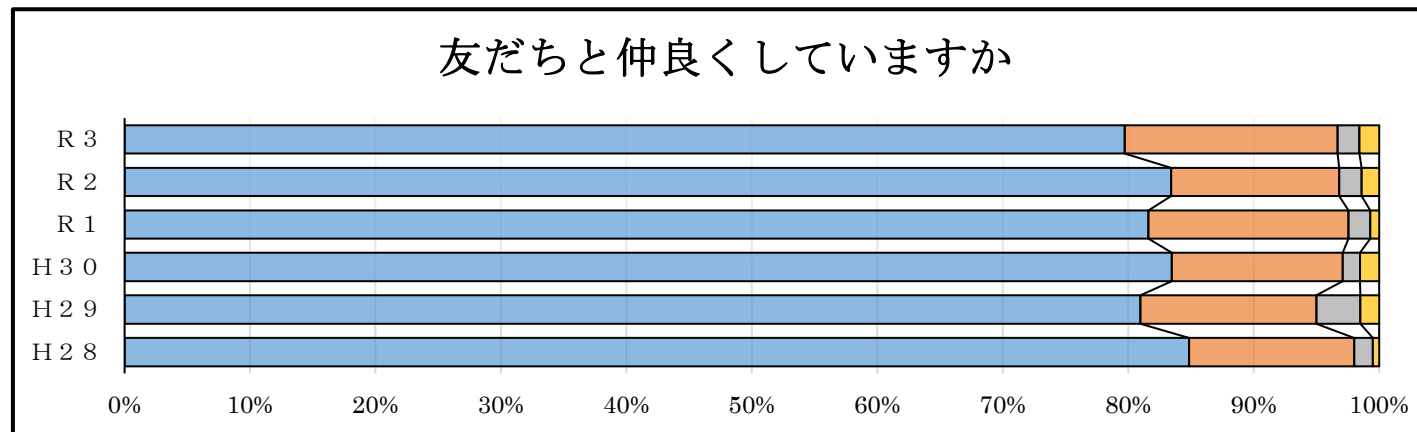
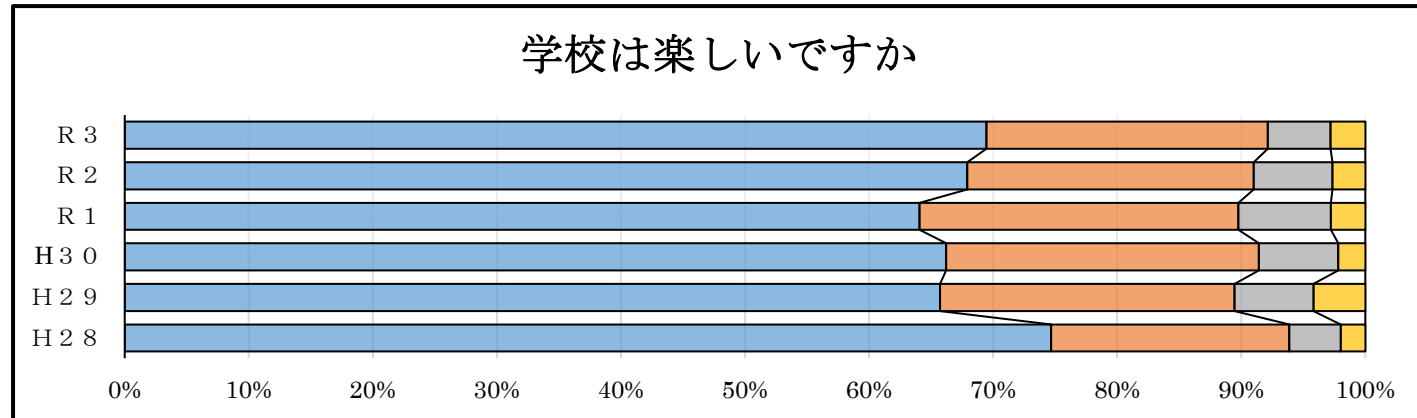
令和3年度学校評価 アンケート集計結果

■ そう思う ■ やや思う ■ あまり思わない ■ 思わない

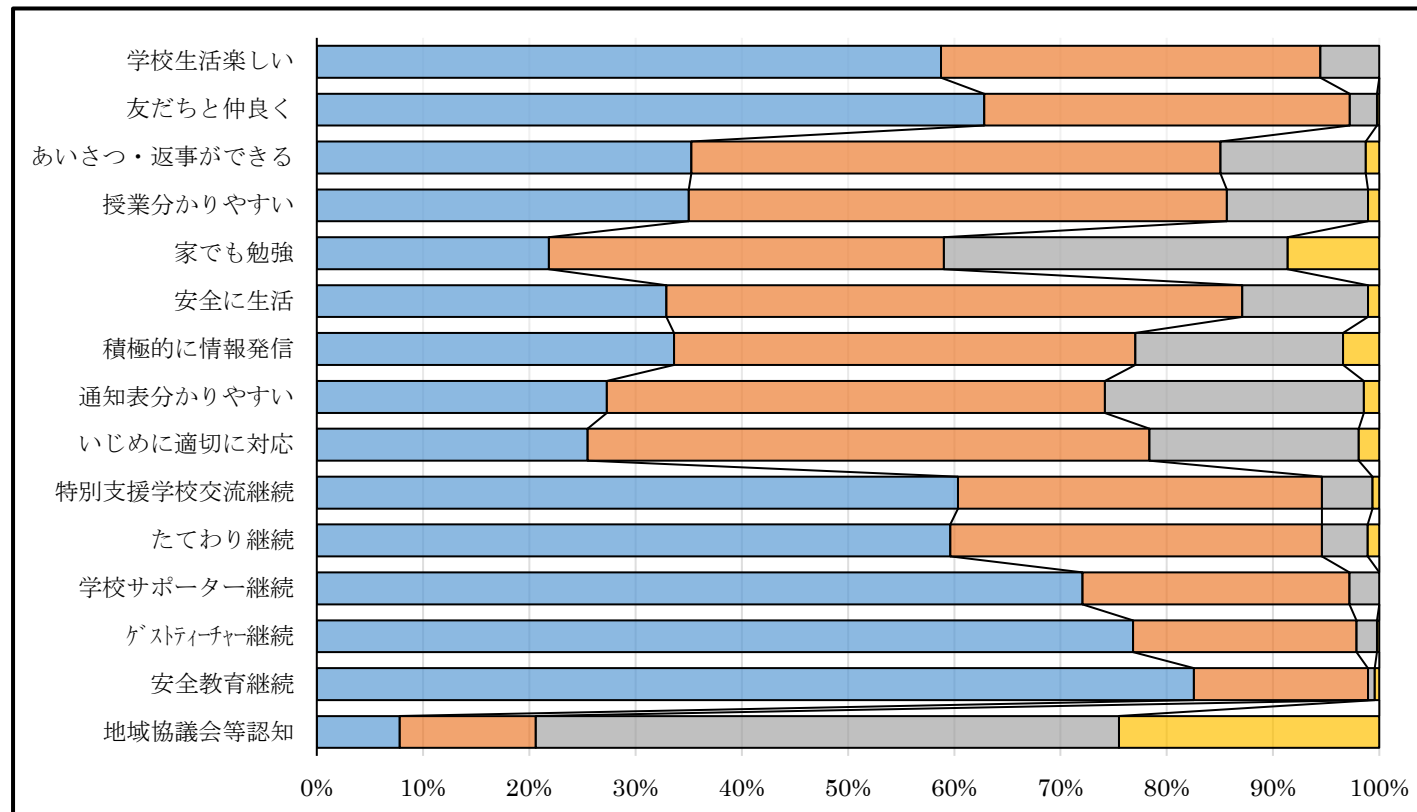
I 児童アンケート結果



II 経年変化（児童）



III 保護者アンケート結果



【学校評価アンケートの結果から】

1 児童アンケートの傾向

- 全体的に肯定的な回答が多い。ただし「学校は楽しくない」と感じている児童が45名、「友だちと仲よくできない」と感じている児童が19名いる。
- 「挨拶・返事をしっかりしている」「授業がわかりやすい」「係・当番にきちんと取り組む」「先生はいじめなどをきちんと解決してくれる」「安全に生活している」という設問に対しては肯定的な回答が90%前後である。ただし「いじめを解決してくれていない」と感じている児童が37名いる。
- 「家でも勉強している」「困ったら先生に相談する」という設問には否定的な回答が多い。特に「困っているときに先生に相談できますか」という設問に対して162名（29%）が否定的な回答をしている。この児童には相談相手はいるのか、困ったことをどう処理していくのか等、考えていく必要がある。
- 高学年、特に6年生ほど、自己評価がやや厳しい傾向にある。
- 「COVID-19の流行で悩みがある」という設問に対しては223名（39%）が「ある」「少しある」と回答している。一人一人の悩みを丁寧に聴き取る必要がある。
- 「学校は楽しいですか」「友だちと仲よくしていますか」の経年変化を見ると大きな変化はなく、概ね満足していることがうかがえる。

2 保護者アンケートの傾向

- 大多数の保護者が、児童は楽しく学校生活を送り、友だちと仲よくできていると感じている。
- 「家でも勉強している」「積極的に情報発信している」「通知表が分かりやすい」「いじめ等問題があったときに適切に対応している」については、他の項目に比べて否定的な回答が多い。

3 教職員アンケートの傾向

- 全体に見る目が厳しく「そう思う」の割合が低い。
- 「挨拶・返事をしっかりできる」「授業が分かりやすい」「家でも勉強している」「安全に生活している」「通知表が分かりやすい」については、他の項目に比べて否定的な回答が多い。

IV 教職員アンケート結果

